

研究課題：

SurgWeek-2: Identifying the global burden of postoperative complications: an international prospective cohort study protocol
術後合併症の世界的負担を明らかにするための国際前向き多施設観察コホート研究

1. 研究の目的

この研究は、手術のあとに起こる合併症や、その後の経過について、世界中の医療機関で集めたデータをもとに調べる研究です。

手術のあとには、感染、肺炎、血栓症、心臓の合併症など、さまざまな合併症が起こることがあります。しかし、こうした合併症がどのくらい起こっているのか、国や地域、手術の種類によってどのような違いがあるのかは、まだ十分にわかっていません。

この研究では、通常の診療の中で記録されている情報を用いて、術後合併症の実態を明らかにし、今後のより安全な手術や周術期管理につなげることを目的としています。

2. 研究の方法

この研究では、2026年8月31日から2026年10月11日までの間に、当センターが研究参加期間として選択した週に、手術室で予定手術または緊急手術を受けた患者様を対象とします。

研究のために新たな採血、検査、アンケート、電話連絡、追加受診などをお願いすることはありません。

診療録（カルテ）、手術記録、麻酔記録、退院時の記録、通常の診療の中で確認できる術後30日までの経過などから、必要な情報を調べてまとめます。

3. 研究期間

手術の登録期間は2026年8月31日から2026年10月11日までで、術後30日までの経過確認は2026年11月10日まで行います。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

この研究では、患者様の診療録から、主に次のような情報を使わせていただきます。

- 年齢、性別、身長、体重などの基本情報
- 入院の理由、これまでの病気や治療歴
- 手術の種類、緊急手術か予定手術か

- 麻酔に関する情報
- 術前・術中・術後の経過
- 術後合併症の有無と内容
- 退院日、術後 30 日までの再受診・再入院の有無
- 術後 30 日以内の死亡の有無
- 感染症や抗菌薬耐性に関する情報 など

この研究で使うのは、通常の診療の中ですでに記録されている情報のみです。患者様のお名前やカルテ番号など、個人を直接特定できる情報を外部に出すことはありません。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で集めた情報は、患者さんのお名前やカルテ番号など、個人を直接特定できる情報を除いたうえで、研究用の番号を付けて管理します。

そのうえで、英国バーミンガム大学が管理する安全な電子データシステム（REDCap）に登録し、国内外の参加施設のデータとあわせて解析します。

この研究で得られた結果は、学会や医学雑誌などで公表されることがありますが、患者様個人が特定されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：麻酔科 医長 藤本由貴

研究分担者：外科 医長 出家亨一

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）